

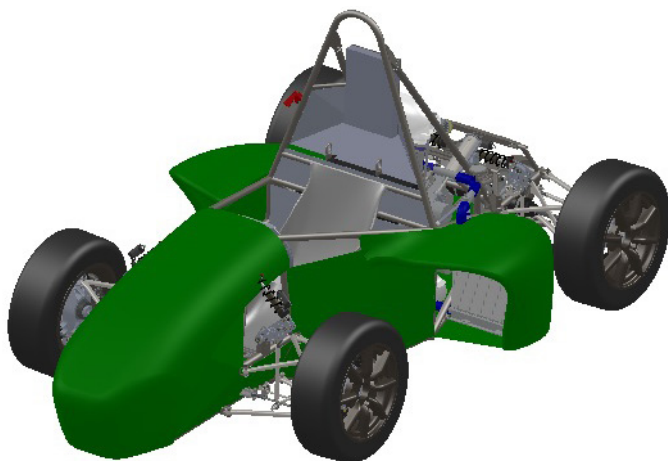


NU-14 としての挑戦

NEXT. Formula Project

NEXT. Formula Project

<http://www.eng.niigata-u.ac.jp/~next-fp/>



今回の総合結果・部門賞

●総合 56位

Profile チーム紹介・今までの活動

私達、新潟大学 NEXT. Formula Project は、実践的講義の一環として、スタートしました。2008年に正式に当プロジェクトが発足し、日本大会においては第7回大会より参戦し、第9回大会では初の全種目完走、ジャンプアップ賞、総合20位と大きく飛躍を遂げました。今年で6年連続、6回目の出場になります。

Team-member チームメンバー

鈴木 寛人 (CP)

田村 武夫 (FA)、羽田 卓史 (FA)、池浦 正人、奥田 健志、小倉 祐樹、保坂 晃成、山菅 健、伊藤 迅平、吉田 竜也、阿部 正史、押田 美沙、石本 雅人、小川 稜太、富田 亮、中俣 知大、前田 義貴、松澤 知行、森 滉平、八幡 和典、山田 泰輔、稲垣 祐介、稲村 拓也、遠藤 寛幸、木藤 潤、小松 諒平、繁山 稜、高倉 陸椰、平久江 裕貴、渡邊 輝之

Sponsors スポンサーリスト

スズキ、ニイガタ・ローディング・システムズ、テック長沢、住友ゴム工業、和光ケミカル、NTN、日信工業、ミスミ、ソリッドワークス、キノクニエンタープライズ、マルト長谷川工作所、VSN、サカモトエンジニアリング、住友電装、昭和電工、浪速鉄工、砂山製作所、レーシング サービス ワタナベ、大同工業、エステーリンク、難波製作所、クールナッツ、MoTeC Japan、新潟大学工学部工学力教育センター

Presentation プレゼンテーション

マシン名: NU-14

これまで5年間の大会での経験や、チーム力を考えたとき、圧倒的な「速さ」が私たちのチームには足りませんでした。他にも、「上位チームと何が違い、何が足りないのか」このことをひたむきに考え、出た結論が「何事も貪欲に。自分たちの無力さを知り、基本的なことを見直す」こととなりました。「なぜ、どうして。」チームひとりひとりが考え、1台のNU-14を製作してきました。

NU-14のコンセプトは「オートクロスの追求」とし、加速・旋回での車両性能におけるボトムアップを図りました。パワートレイン系においては、「コーナー脱出時の鋭い加速性能」を達成するべく、回転数と使用ギヤより、ピークトルク回転数を設定し、吸排気系を中心に習熟を重ねてきました。シャシー系においては、「コーナリング挙動の安定化」を目標に掲げ、ロール挙動や、タイヤの接地性という観点から、設計にアプローチしてきました。特に「動くサスペンション」にするにはどうしたらよいか、ばね定数、ロール剛性などさまざまな要素を検討し、サスペンション性能を十分に生かすことのできるように取り組んできました。

また、私たちは学生フォーミュラの活動以外でも「カーボンオフセット」という考えの下、ボランティアの皆様と協力させていただきながら、植樹・森林保全活動を行っています。植樹活動も、当チームの特徴のひとつです。

Participation report 参戦レポート

大会直前の車両の調整については、これまでを上まわるものでした。データからも、ドライバーの感想からもそれらが裏付けられました。そんな車両を携え、大会に臨みました。

初日、2日目と順調に静的審査をこなしました。今年は、他大学との交流ができ、情報交換ができました。さらに、昨年との静的審査において、プレゼンテーションとデザインについては、軒並み点数が悪かったので、内容・対策は充分に行いました。それが功を奏してか、静的審査3項目については、上々の成績を上げることができました。

一方、車両についてですが、2日目に無事、車検を通すことができ、チルトも消化できました。しかし、騒音・ブレーキテストのためにエンジンをかけようとしたのですが、かかりません。さらには、燃料タンク上部から、燃料の滲みが見られました。燃料タンクについては、修理工場で何とか修理できましたが、エンジンの始動についての今回の症状は、今まで見たことがありませんでした。修正を試みましたが、ECU関連部品が壊れていたことが原因でした。予備部品を持ち合わせていなかったため、動的審査のリタイアを決定しました。

大会前の調整が順調に行っていただけに「もしも走っていたら」と考えると、悔しくて言葉になりません。危機管理や準備に対して、チームとして足りなかったのだと思います。

結果、総合56位でした。目標としていた全種目完走・上位入賞は来年以降におあずけです。まだまだ「チーム力」が足りないのだと実感しました。「来年こそ全種目完走。」悔しさを胸に約束しました。